

骨子（案）第2章の現状に係る参考データ

1 将来人口の減少

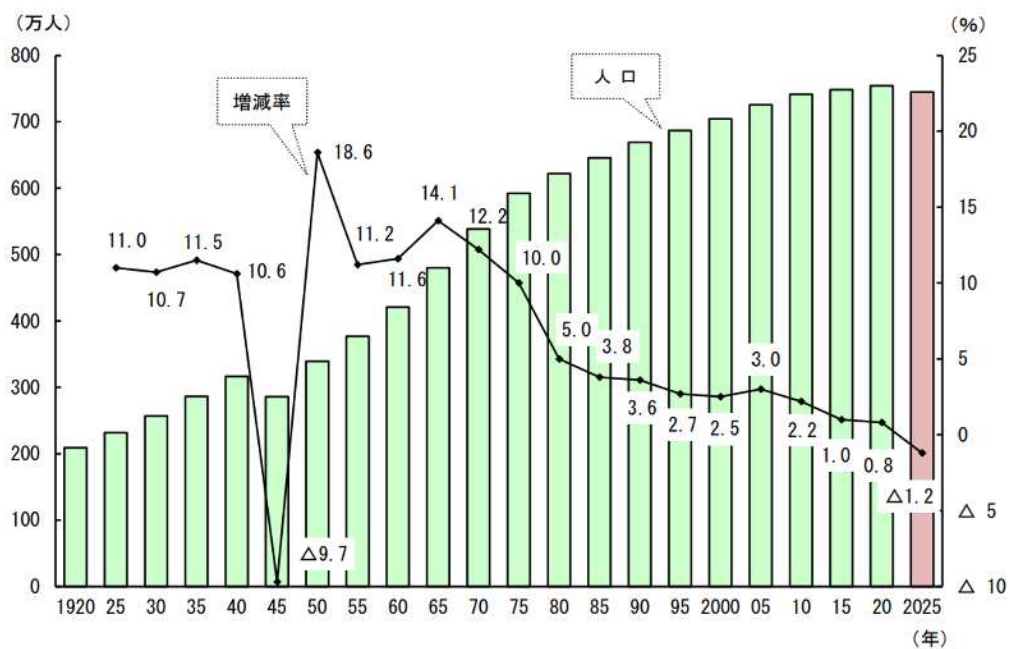
（1）愛知県における人口の将来推計

ア 愛知県の人口

2025 年 10 月 1 日現在の愛知県の人口は 744 万 9403 人

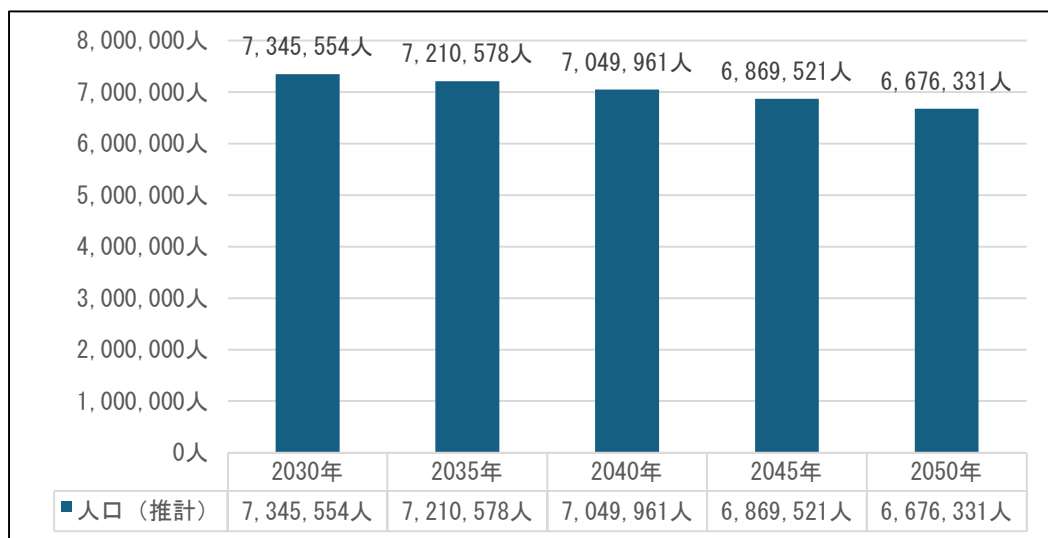
2020 年と比べると、9 万 3012 人（1.2%）の減少

（国勢調査結果としては、初めての減少となった）



（出典：統計課「令和7年国勢調査結果速報」）

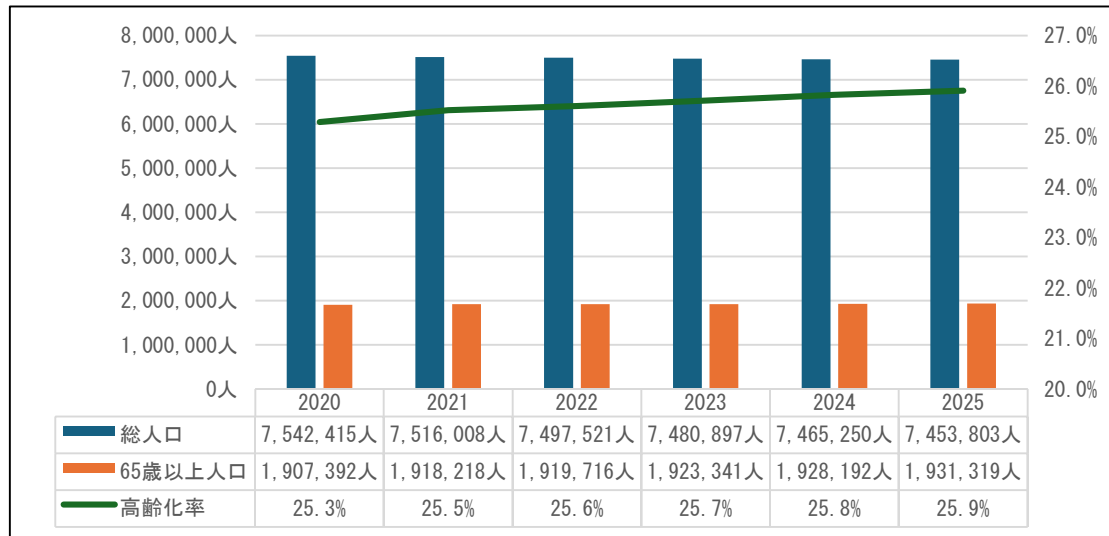
イ 愛知県人口の将来推計



（出典：国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口 令和5（2023）年推計」）

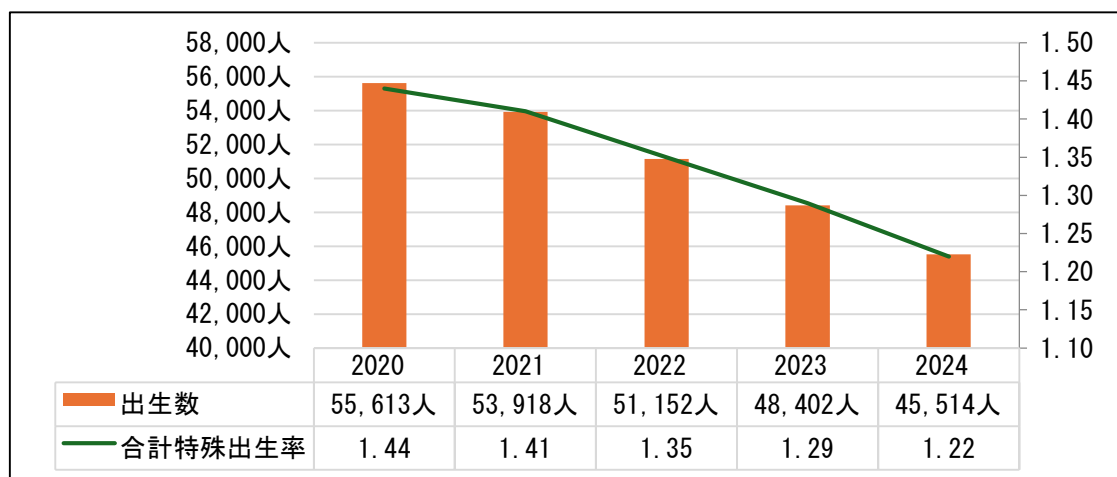
2 高齢化、少子化の進行、生産年齢人口の減少

(1) 愛知県における高齢化の状況



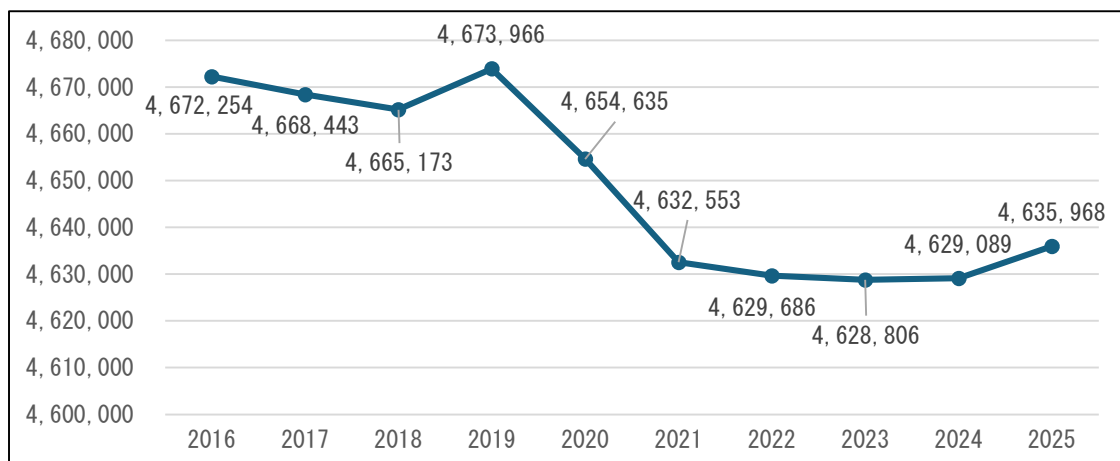
(出典：統計課「愛知県人口動向調査結果」)

(2) 愛知県における少子化の状況



(出典：統計課「愛知県の人口動態統計」)

(3) 愛知県における生産年齢人口の推移



(出典：統計課「愛知県人口動向調査結果」)

3 地域別の人口動向

尾張地域、西三河地域及び東三河地域の3地域全てにおいて減少。（地域ブロック別に見ると、名古屋ブロックのみが増加。）また、全ての地域ブロックで、日本人は減少となりましたが、外国人は増加となりました。

表1 地域・地域ブロック別の人口増減（2024年10月～2025年9月）

（単位：人、％）

地域・地域ブロック	人口増減数（増減率）	日本人		外国人	
		男	女	男	女
愛知県	△ 11,447 (△ 0.15)	△ 19,327	△ 17,462	14,697	10,645
尾張地域	△ 2,603 (△ 0.05)	△ 11,543	△ 9,636	10,694	7,882
名古屋ブロック	7,609 (0.33)	△ 1,386	△ 602	5,051	4,546
尾張北東部ブロック	△ 3,282 (△ 0.27)	△ 4,024	△ 3,367	2,577	1,532
尾張中西部・海部ブロック	△ 4,253 (△ 0.43)	△ 3,934	△ 3,742	2,223	1,200
知多ブロック	△ 2,677 (△ 0.43)	△ 2,199	△ 1,925	843	604
西三河地域(西三河ブロック)	△ 3,651 (△ 0.23)	△ 4,151	△ 4,198	2,691	2,007
東三河地域(東三河ブロック)	△ 5,193 (△ 0.71)	△ 3,633	△ 3,628	1,312	756

表2 地域・地域ブロック別の人口（2025年10月1日）

（単位：人、％）

地域・地域ブロック	人口（構成比率）	日本人		外国人	
		男	女	男	女
愛知県	7,453,803 (100.0)	3,541,718	3,577,410	171,001	163,674
尾張地域	5,136,080 (68.9)	2,426,016	2,499,926	106,040	104,098
名古屋ブロック	2,338,873 (31.4)	1,097,353	1,136,754	50,533	54,233
尾張北東部ブロック	1,194,424 (16.0)	563,528	580,602	26,305	23,989
尾張中西部・海部ブロック	987,813 (13.3)	467,423	487,067	17,612	15,711
知多ブロック	614,970 (8.3)	297,712	295,503	11,590	10,165
西三河地域(西三河ブロック)	1,593,392 (21.4)	773,205	733,763	45,394	41,030
東三河地域(東三河ブロック)	724,331 (9.7)	342,497	343,721	19,567	18,546

（出典：統計課「愛知県人口動向調査結果」）

4 世帯の多様化・小規模化

(1) 平均世帯人員数の状況

1 世帯当たりの世帯人数



(出典：統計課「愛知県人口動向調査結果」)

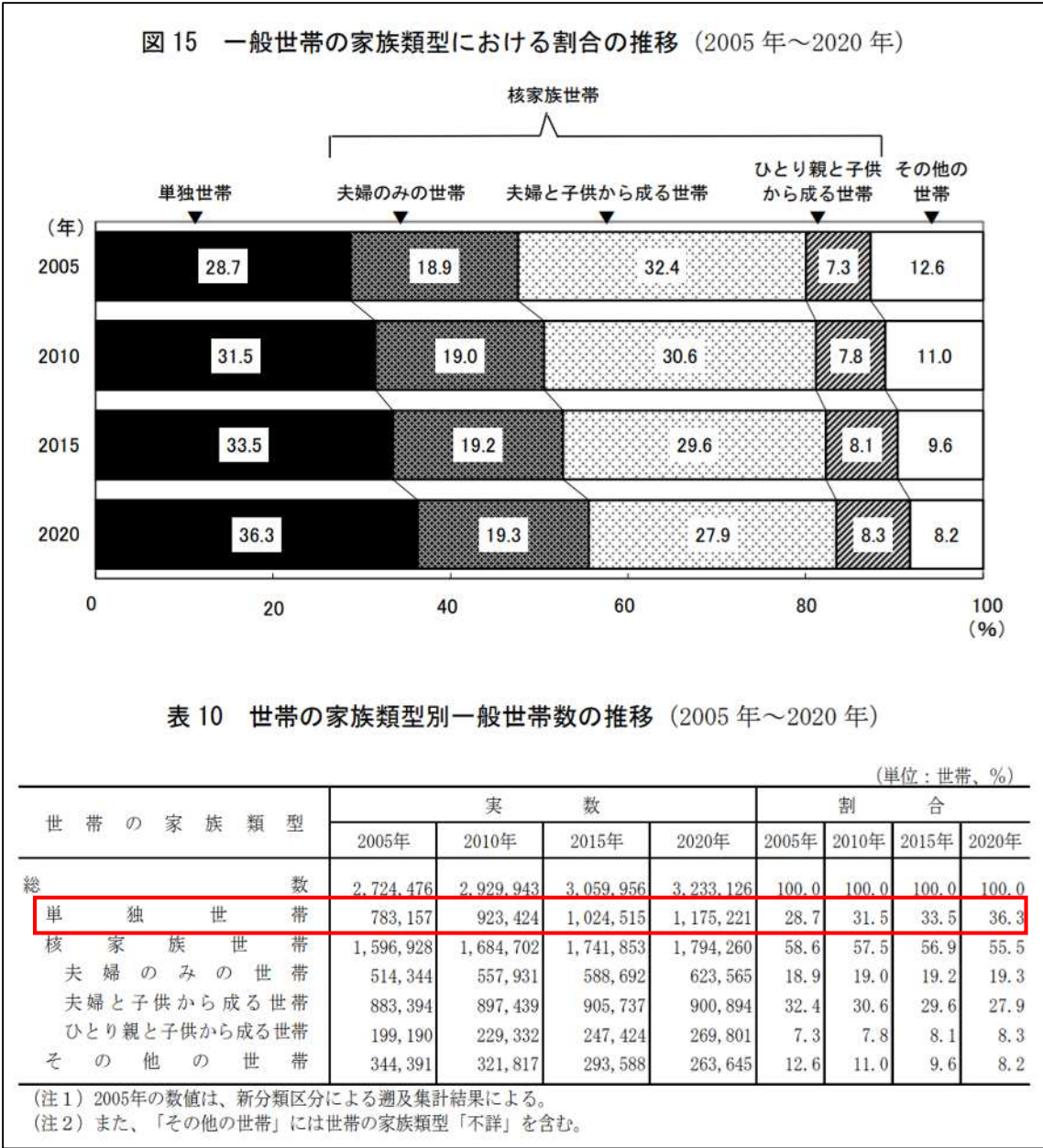
(参考) 地域ブロック別の世帯数、世帯増減及び一世帯当たりの世帯人員

(単位：世帯、%、人)

地域・地域ブロック	世帯数（構成比率） （2025年10月1日現在）	世帯増減		一世帯当たりの 世帯人員
		増減数	増減率	
愛知県	3,412,586 (100.0)	43,959	1.30	2.18
尾張地域	2,412,867 (70.7)	32,670	1.37	2.13
名古屋ブロック	1,194,796 (35.0)	20,312	1.73	1.96
尾張北東部ブロック	524,766 (15.4)	5,385	1.04	2.28
尾張中西部・海部ブロック	424,553 (12.4)	4,523	1.08	2.33
知多ブロック	268,752 (7.9)	2,450	0.92	2.29
西三河地域(西三河ブロック)	690,978 (20.3)	8,639	1.27	2.31
東三河地域(東三河ブロック)	308,741 (9.1)	2,650	0.87	2.35

(出典：統計課「愛知県人口動向調査結果」)

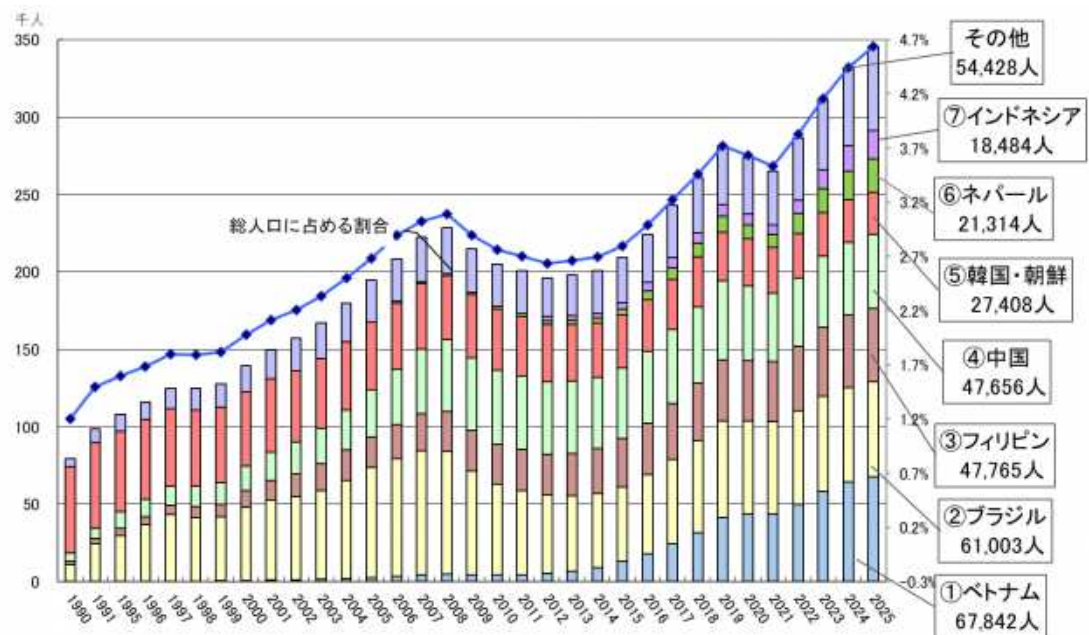
(2) 単身世帯の状況



(出典: 統計課「あいちの人口 令和2年国勢調査」)

5 外国人住民の増加、多国籍化

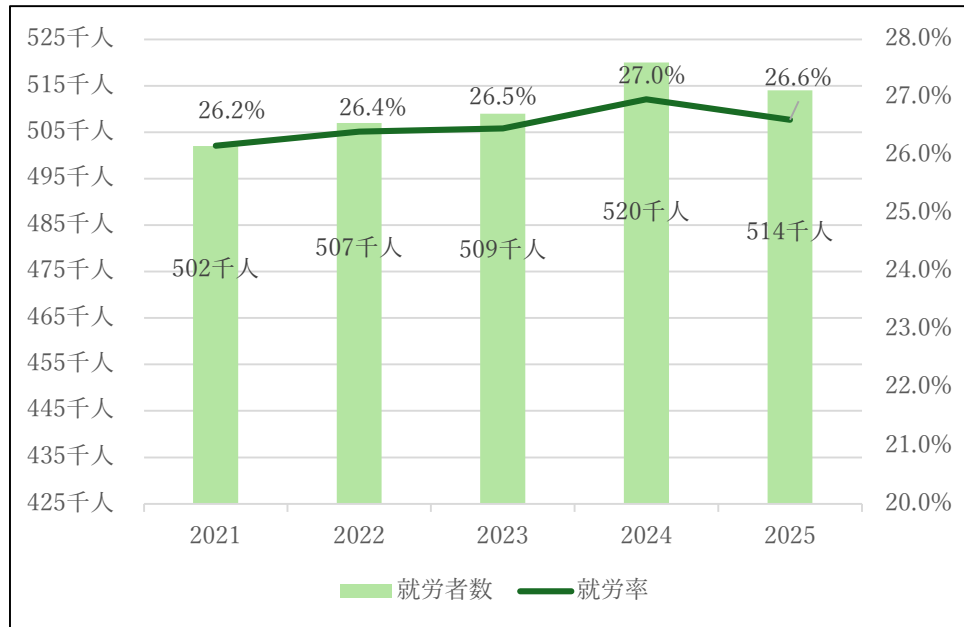
2025 年 6 月末現在の愛知県内の外国人住民数は 345,900 人で、2024 年 12 月末の外国人住民数に比べ 14,167 人増加。県内総人口に占める外国人住民数の割合は 4.64%。



(出典：法務省「在留外国人統計」)

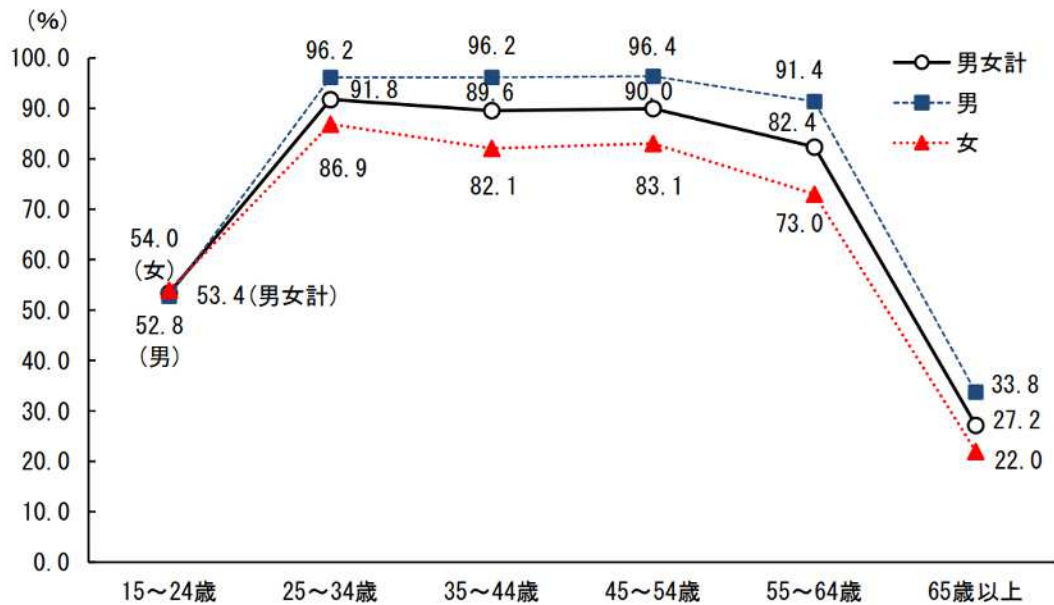
6 労働力と働き方の広がり

(1) 高齢者の就労の推移



(出典：統計課「あいちの就業状況－労働力調査地方集計結果－2025年平均」)

(2) 年齢階級別労働力人口比率 (2025 年)



(出典：統計課「あいちの就業状況－労働力調査地方集計結果－2025年平均」)

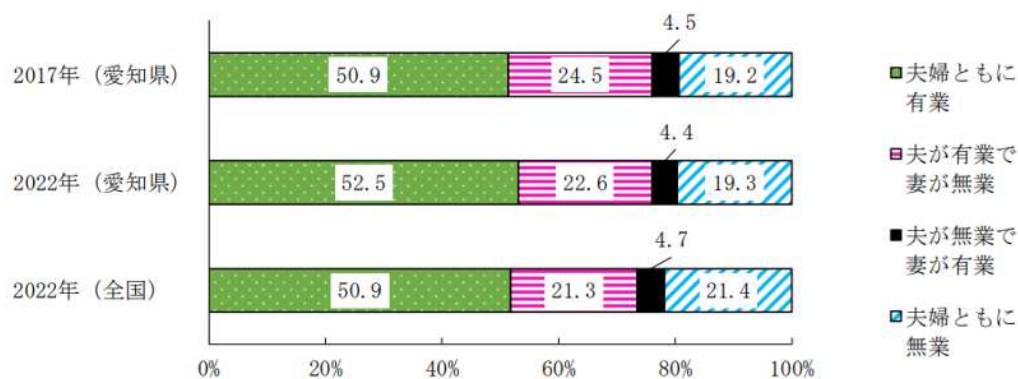
(3) 共働きの状況

表 12 夫と妻の就業状態別世帯数

(単位：千世帯)

世帯の家族類型		夫と妻の就業状態	総数	夫婦ともに 有業	夫が有業で 妻が無業	夫が無業で 妻が有業	夫婦ともに 無業
2017年	総数		1,671	850	410	76	320
	夫婦のみの世帯		612	220	113	41	226
	夫婦と親から成る世帯		45	25	11	3	5
	夫婦と子供から成る世帯		899	521	262	29	84
	夫婦、子供と親から成る世帯		115	84	24	3	5
2022年	総数		1,629	856	368	71	315
	夫婦のみの世帯		666	248	128	44	230
	夫婦と親から成る世帯		42	24	10	3	5
	夫婦と子供から成る世帯		841	525	215	21	78
	夫婦、子供と親から成る世帯		79	60	14	3	3
2022年 (全国)	総数		26,454	13,462	5,632	1,244	5,657
	夫婦のみの世帯		11,816	4,197	2,301	759	4,177
	夫婦と親から成る世帯		717	439	153	46	76
	夫婦と子供から成る世帯		12,799	7,971	2,984	405	1,368
	夫婦、子供と親から成る世帯		1,122	855	194	35	36

図 7 夫と妻の就業状態別世帯比率

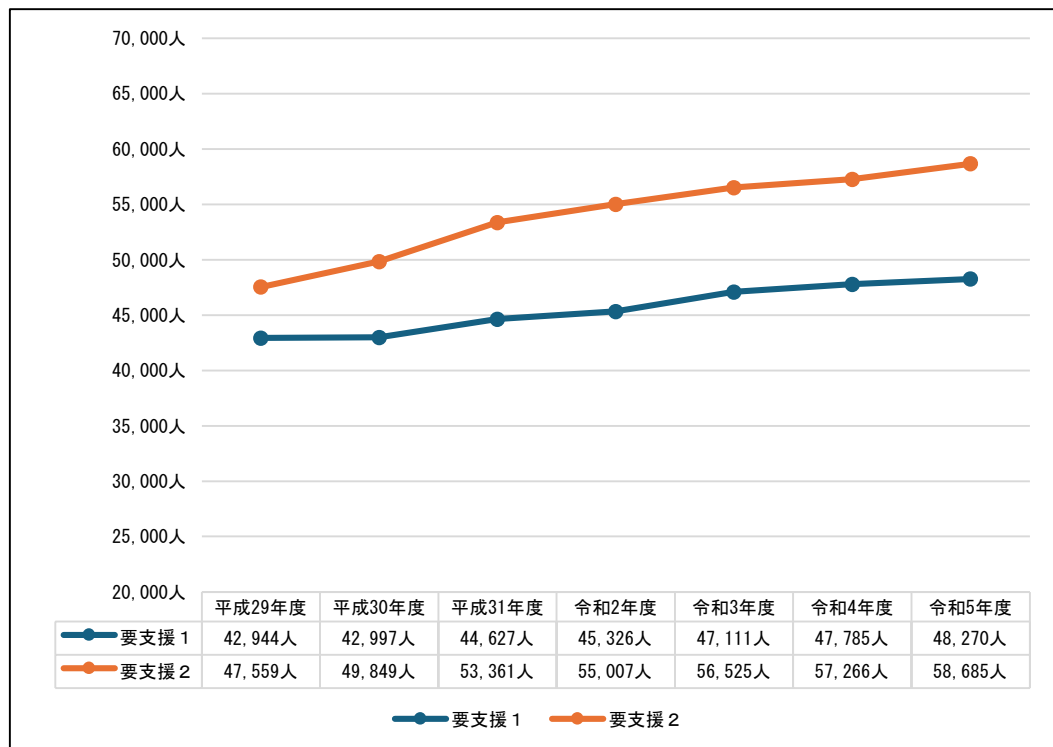


(出典：総務省統計局「令和4年就業構造基本調査結果」)

7 要介護・要支援認定者、認知症高齢者の増加

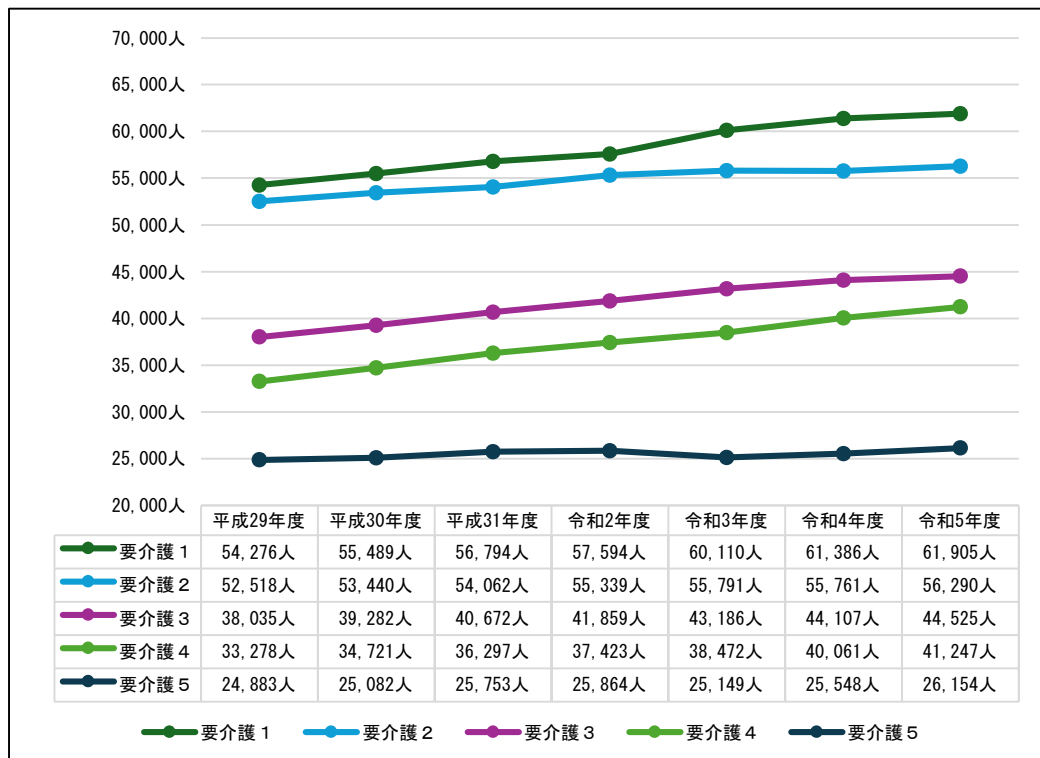
(1) 要介護・要支援認定者数の推移

ア 要支援認定者数の推移



(出典：統計課「令和7(2025)年度刊愛知県統計年鑑」)

イ 要介護認定者数の推移



(出典：統計課「令和7(2025)年度刊愛知県統計年鑑」)

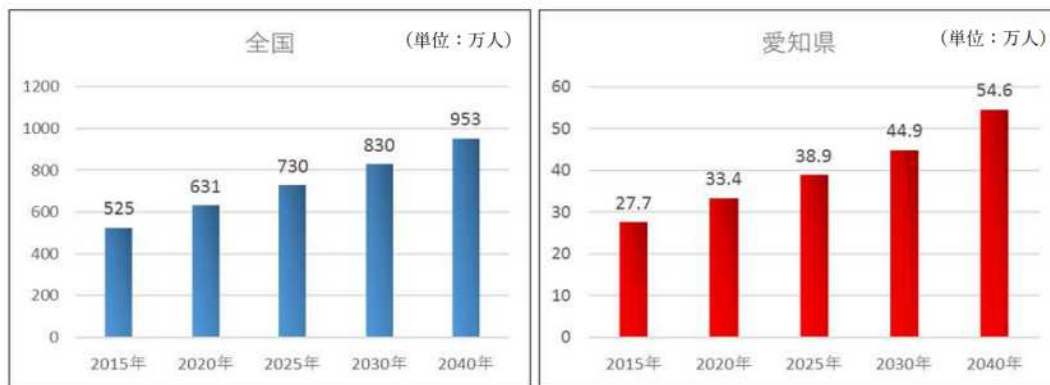
(2) 認知症高齢者数の推移

		2015 年	2020 年	2025 年	2030 年	2040 年
全 国	認知症有病率 が一定の場合	517 万人	602 万人	675 万人	744 万人	802 万人
		15.2%	16.7%	18.5%	20.2%	20.7%
	認知症有病率 が上昇する場合	525 万人	631 万人	730 万人	830 万人	953 万人
		15.5%	17.5%	20.0%	22.5%	24.6%
愛 知 県	認知症有病率 が一定の場合	27.2 万人	31.9 万人	35.9 万人	40.3 万人	45.9 万人
	認知症有病率 が上昇する場合	27.7 万人	33.4 万人	38.9 万人	44.9 万人	54.6 万人

※認知症有病率が一定の場合と、糖尿病有病率の増加により上昇する場合の2種類を掲載

※全国数値は、厚生労働省老健局 2015 年 1 月 27 日公表「日本における認知症の高齢者人口の将来推計に関する研究」による速報値（下段は 65 歳以上人口に対する有病率（補正版））

※愛知県数値は、将来推計人口（65 歳以上）に上記有病率を乗じた数値



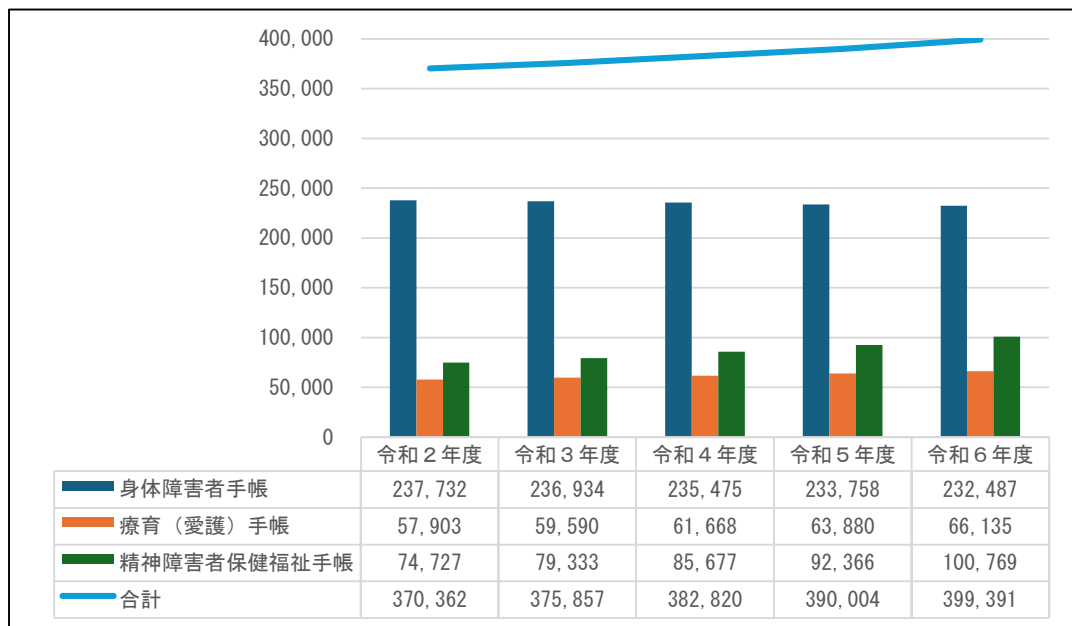
※認知症有病率が上昇する場合の推計値により作成

(出典：高齢福祉課「第9期愛知県高齢者福祉保健医療計画」)

8 障害のある人の状況

(1) 障害者手帳所持者数の推移

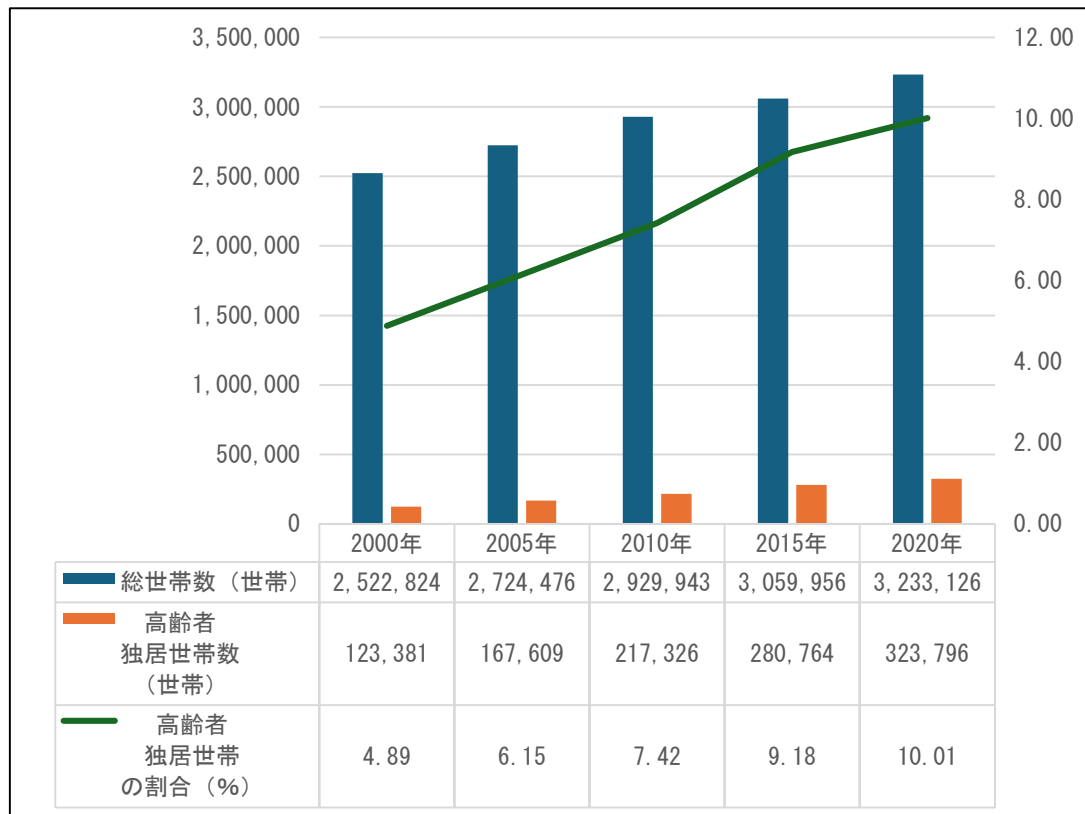
身体障害者手帳、療育（愛護）手帳及び精神障害者保健福祉手帳の所持者数の推移



（出典：統計課「令和 7（2025）年度刊愛知県統計年鑑」）

9 独居高齢者の増加、頼れる身寄りのない高齢者の状況

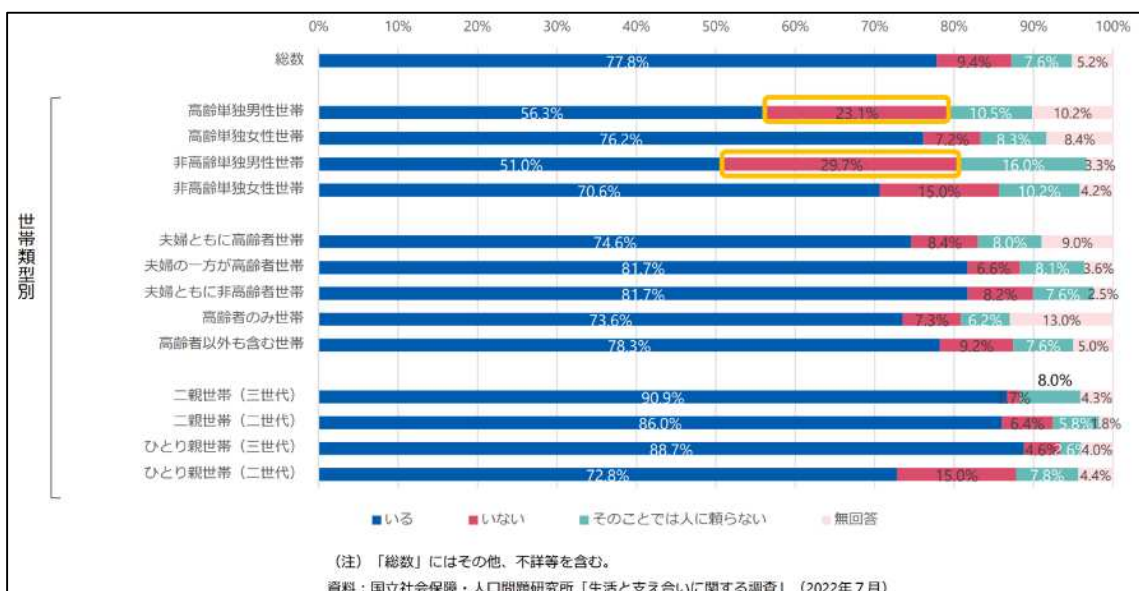
(1) 高齢者独居世帯数及び割合



（出典：総務省「国勢調査」）

(2) 「日頃のちょっとしたことの手助け」で頼れる人の有無

高齢単独男性世帯の23.1%、非高齢単独女性世帯の29.7%が「いない」と回答

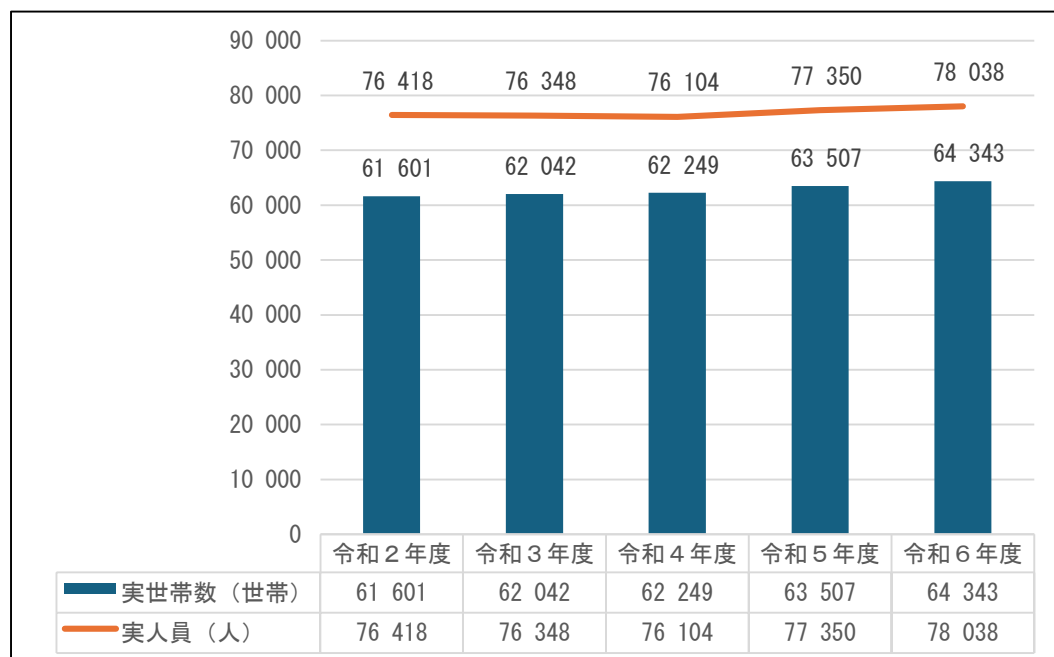


（出典：第5回地域共生社会の在り方検討会議（令和6年10月29日）資料）

10 生活困窮者等の状況（生活保護、子どもの貧困率等）

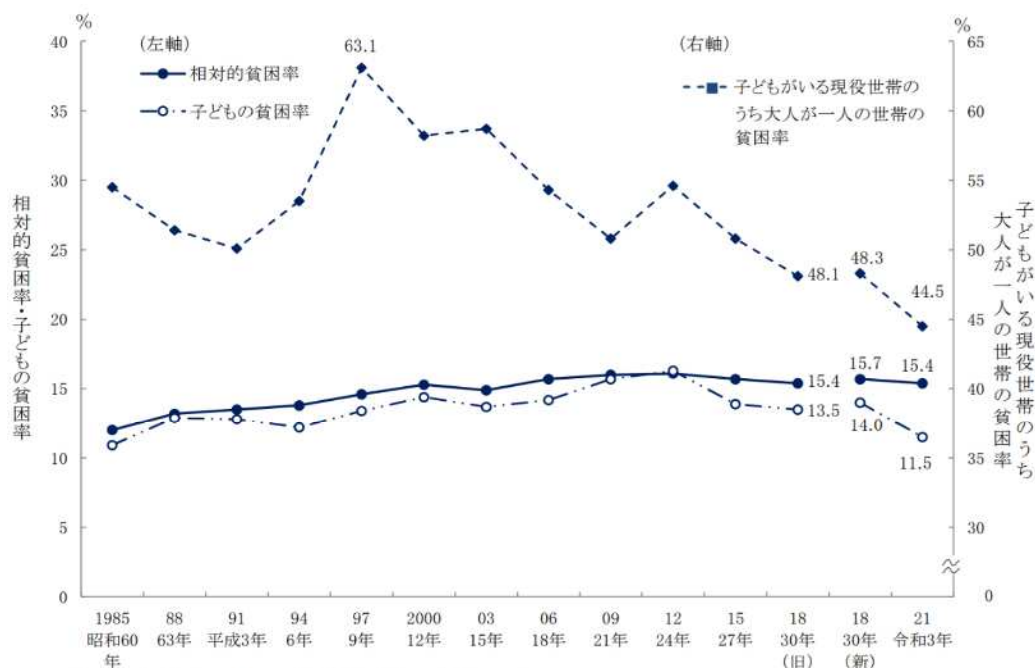
（１）生活困窮者等の増加

ア 愛知県内の生活保護世帯数及び人員



（出典：統計課「令和7（2025）年度刊愛知県統計年鑑」）

イ 子どもがいる現役世帯のうち大人が一人の世帯の貧困率（全国調査）



注：1) 貧困率は、OECDの作成基準に基づいて算出している。
 2) 大人とは18歳以上の者、子どもとは17歳以下の者をいい、現役世帯とは世帯主が18歳以上65歳未満の世帯をいう。
 3) 等価可処分所得金額不詳の世帯員は除く。
 4) 1994（平成6）年の数値は、兵庫県を除いたものである。
 5) 2015（平成27）年の数値は、熊本県を除いたものである。
 6) 2018（平成30）年の「新基準」は、2015年に改定されたOECDの所得定義の新たな基準で、従来の可処分所得から更に「自動車税・軽自動車税・自動車重量税」、「企業年金の掛金」及び「仕送り額」を差し引いたものである。
 7) 2021（令和3）年からは、新基準の数値である。

（出典：厚生労働省「令和4年国民生活基礎調査」）

11 制度の狭間にいる人の状況（ヤングケアラー、ひきこもり等）

（1）ヤングケアラーの状況

ア 愛知県の実態調査結果

図表－22 家族の中にお世話をしている人の有無

	調査数 (n=)	いる	いない	無回答
小学5年生	11,970	16.7	81.6	1.7
中学2年生	11,116	11.3	87.4	1.3
高校2年生（全日制）	7,145	7.1	92.2	0.7
高校2年生（定時制）	327	11.0	87.2	1.8
高校2年生（通信制）	39	20.5	79.5	0.0

※高校2年生（通信制）は「いる」に19歳以上の「いた（現在はお世話をしていない）」を含む

（出典：児童家庭課「愛知県ヤングケアラー実態調査」（2021年度））

イ 全国の実態調査結果

ヤングケアラーの実態調査結果（小学生～大学生）

○ 令和2年度に中学2年生・高校2年生を、令和3年度に小学6年生・大学3年生を、それぞれ対象にヤングケアラーの実態調査を実施

※ 子ども・子育て支援推進調査研究事業により、令和2年度は三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社、3年度は株式会社日本総合研究所が実施。

1 世話をする家族の有無

○ 世話をしている家族の有無について



○ 世話をしている家族が「いる」と回答したのは小学6年生で**6.5%**、中学2年生で**5.7%**、高校2年生で**4.1%**、大学3年生で**6.2%**。

※ 大学生は「いない」の中に、「現在はいないが、過去にいた」人が4.0%含まれる。

※ 例えば、親が仕事で不在の間に幼いきょうだいの遊び相手をするといったケースが含まれ、数値を引き上げている可能性がある。

2 世話の対象者・世話による影響

	世話を必要とする家族	世話のためにやりたいけれどできていないこと
小学生	・「きょうだい」が最も高く、 71.0% ※きょうだいの状況は「幼い」が最も高く73.9%	・「特にない」が最も高く、 63.9% ・次いで「自分の時間がとれない」15.1%
中学生	・「きょうだい」が最も高く、 61.8%	・「特にない」が最も高く、 58.0% ・次いで「自分の時間がとれない」20.1%
高校生	・「きょうだい」が最も高く、 44.3%	・「特にない」が最も高く、 52.1% ・次いで「自分の時間がとれない」16.6%
大学生	・「母親」が最も高く、 35.4% ※母親の状況は、「精神疾患」が最も高く28.7%	・「特にない」が最も高く、 51.9% ・次いで「自分の時間がとれない」20.1%

（出典：こども家庭庁「ヤングケアラー支援の現況」）

(2) 本県におけるひきこもりの現況

厚生労働省と内閣府それぞれの調査によりひきこもり者の推計値が出されており、その結果に基づく愛知県の推計値は下表のとおり。

調査実施主体	調査名及び内容	結果	愛知県推計値 2022. 10. 1 現在
厚生労働省	厚生労働科学研究「こころの健康についての疫学調査に関する研究」 2006 年度 全国 11 地域の住民から無作為に選択した 4,134 名を対象に、訓練を受けた調査員の戸別訪問による直接面接による調査（2002～2005 年実施）	ひきこもり状態にある子どもがいる世帯…0.56%	18,400 世帯 (注3)
内閣府	「若者の生活に関する調査」 2015 年 12 月 ・全国の市区町村に居住する 15～39 歳 の者 5,000 人への訪問留置・訪問回収による調査（層化二段無作為抽出法） ・有効回収数 3,115 人	① 狭義のひきこもり (注1) 0.51% 17 万 6 千人 ② 準ひきこもり (注2) 1.06% 36 万 5 千人 ①+② 広義のひきこもり 54 万 1 千人	① <u>10,500 人</u> ② <u>21,900 人</u> ①+② 32,400 人 (注4)
内閣府	「生活状況に関する調査」 2018 年 12 月 ・全国の市区町村に居住する 40～64 歳 の者 5,000 人への訪問留置・訪問回収による調査（層化二段無作為抽出法） ・有効回収数 3,248 人	① 狭義のひきこもり (注1) 0.87% 36 万 5 千人 ② 準ひきこもり (注2) 0.58% 24 万 8 千人 ①+② 広義のひきこもり 61 万 3 千人	① <u>22,300 人</u> ② <u>14,900 人</u> ①+② 37,200 人 (注5)

注1)「狭義のひきこもり」：自室からほとんど出ない～普段は家にいるが、近所のコンビニなどには出かける群

注2)「準ひきこもり」：普段は家にいるが、自分の趣味に関する用事るときだけ外出する群

注3) 2022 年 10 月 1 日現在本県推計人口（「あいちの人口」）推計世帯数 3,293,208 世帯に調査結果(0.56%)を乗じて推計

注4) 2022 年 10 月 1 日現在本県推計人口（「あいちの人口」15～39 歳 2,064,961 人）にそれぞれの率を乗じて推計

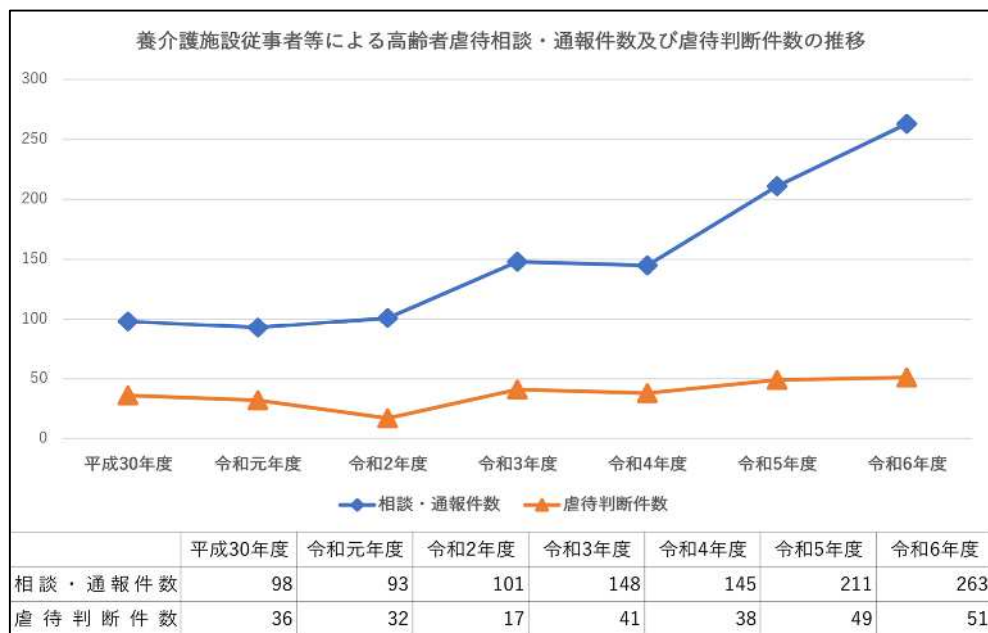
注5) 2022 年 10 月 1 日現在本県推計人口（「あいちの人口」40～64 歳 2,564,725 人）にそれぞれの率を乗じて推計

(出典：医務課こころの健康推進室「愛知県のひきこもり対策の推進について（第4回報告書）」)

12 高齢者・障害者・児童に対する虐待件数の増加

(1) 高齢者の虐待件数

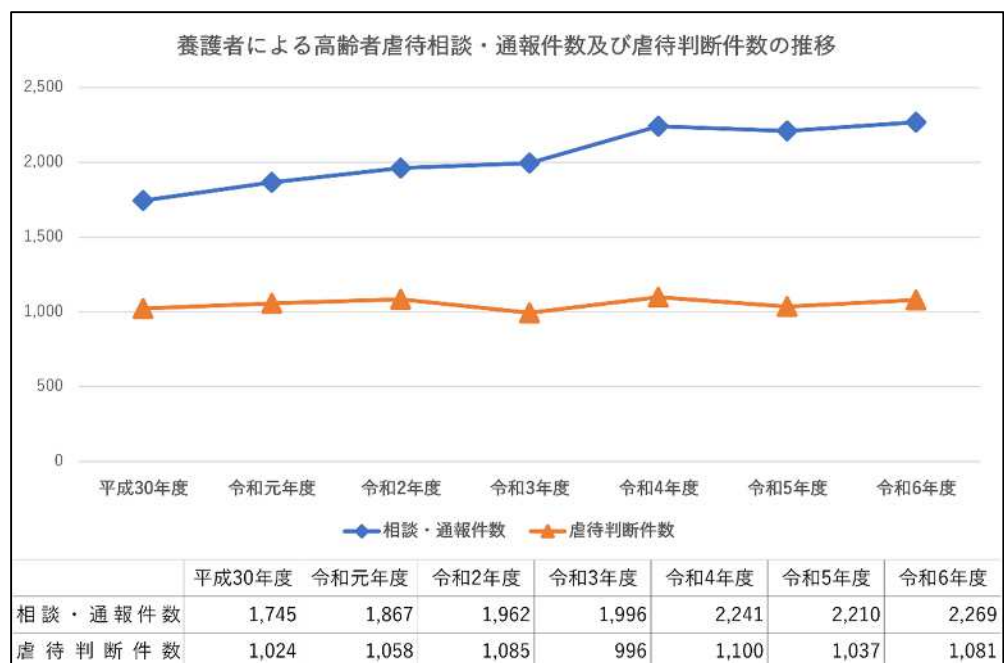
ア 養介護施設従事者等による高齢者虐待



※ 相談・通報件数…調査対象年度に市町村が相談・通報を受理した件数

※ 虐待判断件数…調査対象年度に市町村等が虐待と判断した件数（県と市町村が共同で調査・判断した事例及び県が直接受理し判断した事例を含む。）

イ 養護者による高齢者虐待



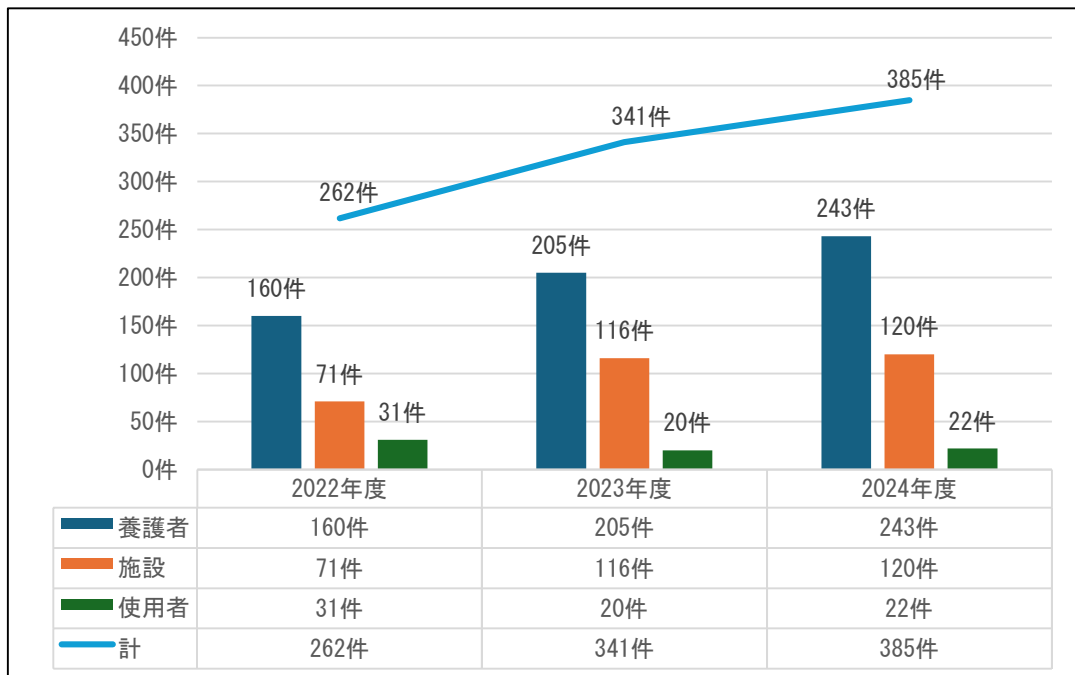
※ 相談・通報件数…調査対象年度に市町村が相談・通報を受理した件数

※ 虐待判断件数…調査対象年度に市町村等が虐待と判断した件数（県と市町村が共同で調査・判断した事例及び県が直接受理し判断した事例を含む。）

（出典：高齢福祉課「高齢者虐待の防止、高齢者の養護者に対する支援等に関する法律に基づく県内市町村の対応状況について」）

(2) 障害者の虐待件数

市町村に相談・通報があったうち、虐待と判断された事案件数



(出典：障害福祉課「2024年度の障害者虐待の状況について」)

(3) 児童虐待の件数

ア 児童相談センターにおける児童虐待相談件数

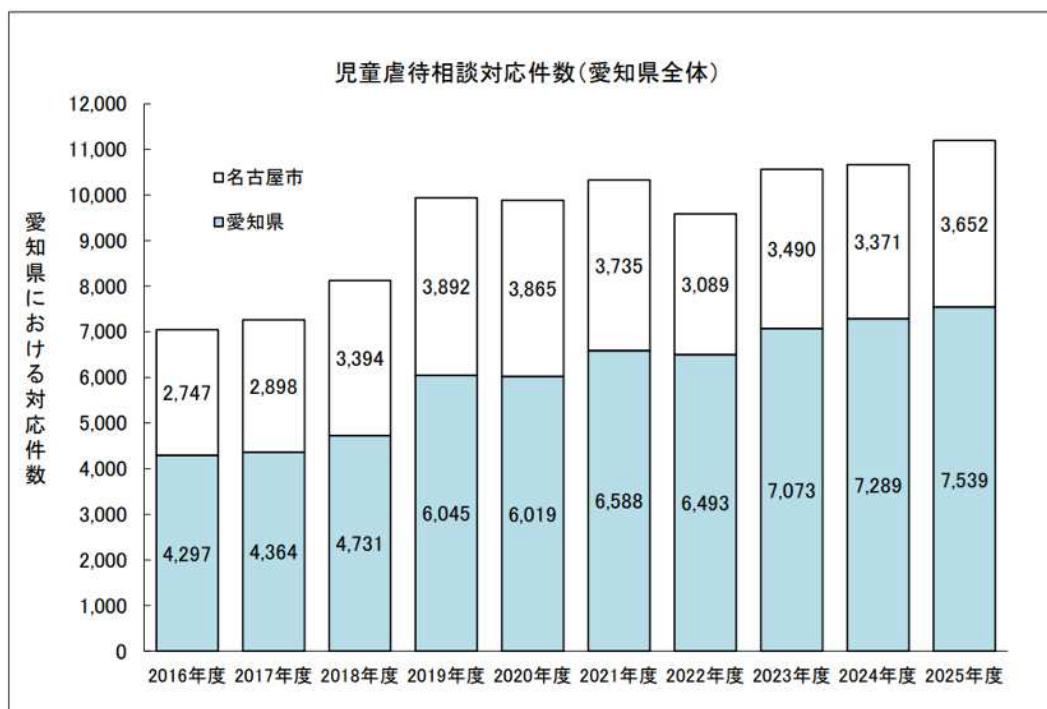
2025年度の虐待に関する相談対応件数は7,539件（対前年度比103.4%）



(出典：児童家庭課「2025年度児童相談センター相談実績の概要及び児童虐待防止に関する取組の実施状況について」)

イ 名古屋市を含めた県全体における児童虐待相談対応件数

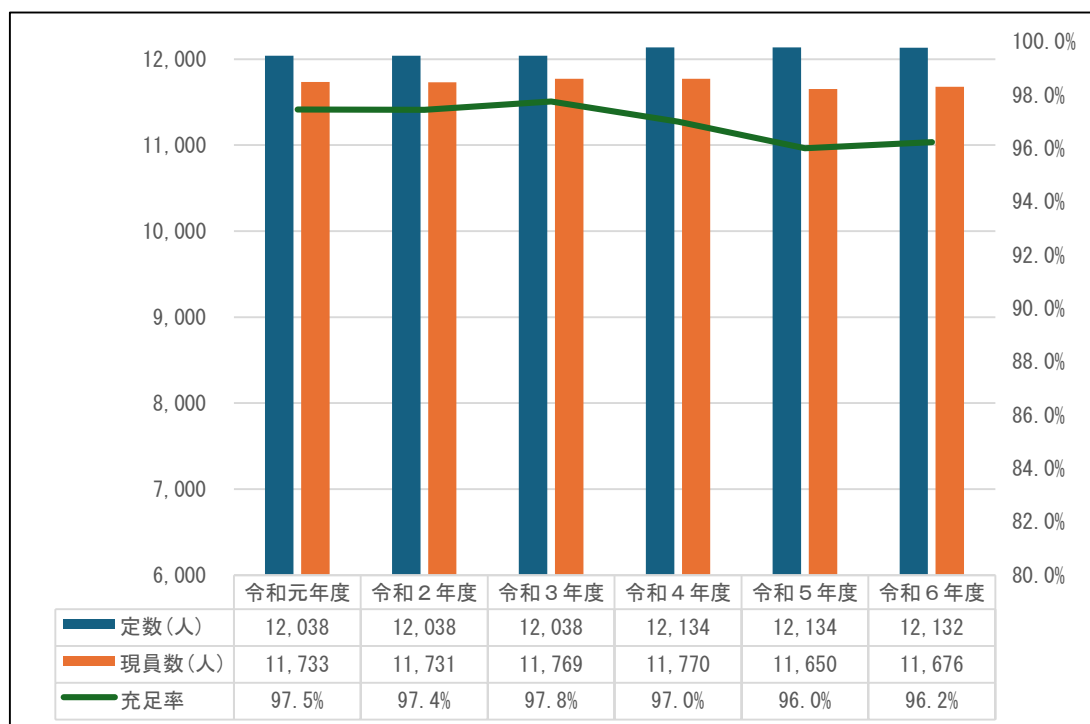
2025年度の件数は11,191件（うち名古屋市 3,652件、県所管分 7,539件）



（出典：児童家庭課「2025年度児童相談センター相談実績の概要及び児童虐待防止に関する取組の実施状況について」）

13 地域福祉を担う人材の状況（民生委員・児童委員、ボランティア等）

民生委員・児童委員の委嘱状況（県内）



（出典：厚生労働省「福祉行政報告例」）

14 福祉現場における状況

(1) 介護職員数の推計

2022年度の愛知県における介護職員数は104,845人

将来に向けて介護職員数の増加が見込まれるものの、高齢化の進行等に伴い必要となる介護職員数の伸びがそれを上回るため、2040年には約33,000人の介護職員の不足が見込まれている。

◇介護職員数推計結果

単位(人)

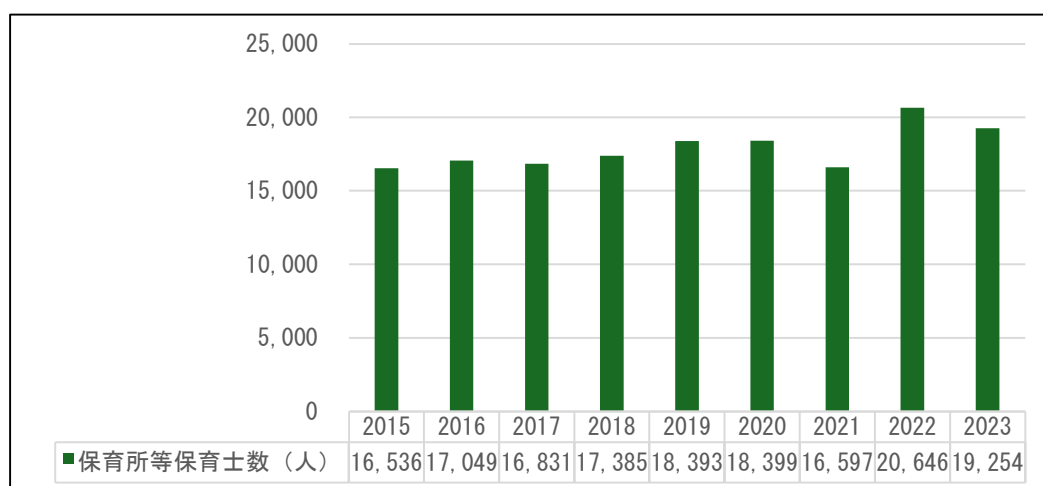
	需要推計	供給推計	需要と供給の差
2026年	128,461	110,281	18,180
2030年	133,061	113,242	19,819
2035年	139,062	113,978	25,084
2040年	145,175	111,659	33,516

(出典：第9期高齢者福祉保健医療計画)

(2) 保育職員数の推計

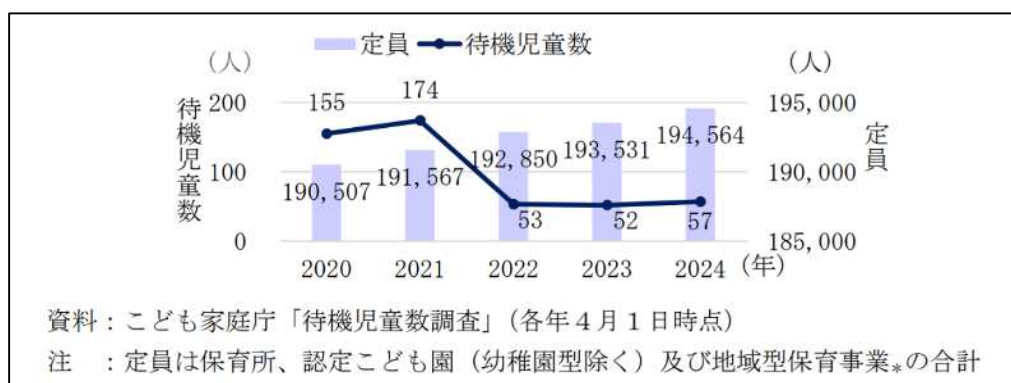
保育士数、保育所数ともに増えているものの、待機児童解消に至っていない。

ア 愛知県内の保育士数



(出典：総務省「社会生活統計指標-都道府県の指標-」)

イ 保育所定員及び待機児童数の推移



(出典：愛知県こども計画はぐみんプラン2029)